

# 福島市保健所 感染症だより

平成30年度 第4号

## ◆福島市の感染症発生状況（6～7月にかけて）

- ・夏期(5～7月頃)に乳幼児を中心に流行しやすい、手足口病、ヘルパンギーナが増えています。
- ・RSウイルスの小流行が続いています。

⇒ 感染経路は、**接触感染・飛沫感染**であるため、**正しい手洗い**を励行しましょう（第3号参照）。

## 性感染症にご注意ください！

中高生や大学生が夏休みに入り、これからの時期に増える心配があるのが、**性感染症**です。性感染症は自覚症状に乏しいことが多く、知らず知らずのうちに感染し、パートナーへうつしてしまうことがあります。福島県では、特に**梅毒**の報告が年々増加しています。

（年間発生届数：H26年8件、H27年24件、H28年69件）

### 梅毒

#### <感染経路>

- ・主に**性的接触**により、**皮膚**や**粘膜**を通して感染します。

#### <初期症状>（無症状のこともあります）

- ・感染後3～6週間程度の潜伏期を経て、感染部位の**潰瘍**、**リンパ節の腫れ**、少し遅れて全身に**発疹等**が出ます。

#### <予防のポイント>

- ・不特定の相手との性行為を避ける。
- ・避妊具を正しく利用する。
- ・感染の疑いがある、または不安な場合は早めに医療機関を受診しましょう。

→ 男性は泌尿器科、女性は婦人科へ受診しましょう。

性感染症は、感染に気づかず、知らないうちに周りに感染させてしまう恐ろしさがあります。“自分”と“大切な人”を守るためにも、自分の体のことをよく知り、不安な人は早めに検査を受けましょう。



## 食中毒の季節です！

食中毒は年間を通じて発生しますが、夏は気温が高くなるため、特に細菌による食中毒が増加します。細菌による食中毒の中には重症化して命に関わるものもありますので、特に注意が必要です。

### <食中毒予防の3原則>

#### ①菌をつけない（清潔を保つ）

- ・手指は調理前や調理中にこまめに洗い、清潔を保ちましょう。
- ・肉や魚を切った後のまな板で、生で食べるものを切らないようにしましょう。

#### ②菌を増やさない（すぐに食べる・温度管理する）

- ・保管温度に注意し、調理した食品はすぐに食べましょう。

#### ③菌をやっつける（きちんと加熱する）

- ・食品の表面だけでなく、中心部まで十分に加熱しましょう。

⇒ 中心部分の温度が75℃で60秒以上、2枚貝などは90秒以上加熱しましょう。

もし症状が出たら…

**下痢や腹痛、血便などの症状が出た場合には、速やかに医療機関を受診してください。**

### <夏休みに海外旅行を予定している方へ>

海外旅行に行く前に、厚生労働省「**夏休みにおける海外での感染症予防について**」のページをご覧ください。渡航先の感染症に関する情報をご確認ください。帰国後、具合が悪くなったときは**事前に電話で医療機関に渡航先、症状を伝えて受診しましょう**。

発行日 平成30年7月末日  
発行元 福島市保健所 健康推進課感染症対策係  
住所 〒960-8002  
福島県福島市森合町10-1  
電話 024-572-3152  
HP 検索キーワード 福島市保健所 感染症